

令和元年度
組織目標達成度測定シート

【作成年月日: 令和2年4月1日】

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み			
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	令和元年度 施政方針	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段		目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
<p>地方分権の進展により、地方自治体に自己決定・自己責任が求められている中において、市の業務の総合的な管理と職員の育成を進め、適正かつ公正で、透明性が高く、効果的な行政を進める行財政運営の基盤を確立する。</p> <p>生涯スポーツの先進地である関西の豊富なスポーツ資源と観光資源を融合させ、日本が持つおもてなしの精神をもって世界の人々が感動するスポーツツーリズムの体験を提供する。</p>	1. 行財政改革の推進	市の将来にわたる持続的な発展及び新総合計画における施策の実効性を確保するため、新たな行政改革実行計画を策定する。	・行革本部会議において新計画策定の方針を決定する。 ・関係機関と取組項目を調整のうえ、新計画を策定する。		・行革本部会議において新計画策定の方針を決定した。 ・理事者や事業担当課と取組項目を調整のうえ、行革本部会議において新計画を策定した。	A	
	2. 会計年度任用職員への移行	地方公務員法が改正され、令和2年4月から「会計年度任用職員」が新たに設置される。 【成果目標】 非常勤嘱託職員、臨時的任用職員を会計年度任用職員へ移行する。	・会計年度任用職員の任用条件等を決定し、必要な例規整備を行う。 ・次年度からの会計年度任用職員の募集及び選考を行う。		会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例を制定するとともに、関係例規の制定及び改正を行った。 令和2年度に向け、会計年度任用職員の募集及び選考を行い、令和2年4月1日時点で755名(全部局合計)を任用した。	A	
	3. 老朽化した庁舎空調設備の改修	冷暖房能力の向上、光熱水費の削減。省エネルギー機器導入によるCO2排出量削減。	・イニシャルコストの削減を図るため、本庁舎及び消防庁舎の空調設備を同時に改修する。 ・プロポーザル方式による提案型を採用し、空調設備を導入する。		ガス焚の中央熱源方式からヒートポンプ技術を用いた高効率空調設備への更新と個別分散方式を軸とした運用を導入した。これにより、快適性の向上だけでなく、大幅なエネルギー消費量の削減及び二酸化炭素排出量の削減に貢献した。	A	
	4. 歴史公文書の適正な管理	永久保存すべき歴史的価値のある公文書「歴史公文書」の適正な整理・保管を行う。	・歴史公文書の抽出、選別 ・不要な旧永年保存文書の廃棄作業		保存すべき歴史公文書の抽出及び選別作業を行い、保存不要となった旧歴史公文書の廃棄作業を行った。	A	

※【目標の達成度の区分: A達成できた、B目標達成に向け事務を進めている、C下半期に実施、D達成困難】